

第 1 事業年度

事業計画書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東 1 条南 2 丁目 1 番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://homepage3.nifty.com/tokachikusirosakemas/>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

平成25年度 基本方針-----	1～2
事業計画-----	3
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業-----	3～4
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
(3) 高品質化推進事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業-----	4～5
(1) ふ化施設整備計画	
(2) 捕獲施設整備計画	
3. ふ化放流事業助成事業-----	5
4. さけます資源保護対策-----	6
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密猟防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
5. 釧路川資源調査事業-----	6
6. 受入並びに負担事業-----	7
(1) さけ・ます増殖事業支援事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
7. 施設整備5ヶ年計画（平成25年～29年）-----	8
収支予算書-----	9～11
平成24年度会費の額及び徴収方法-----	12
別表1-----	13
別表2-----	14

平成 25 年度 基本方針

平成 24 年度の十勝、釧路管内の秋さけ定置漁業は、かつて例を見ない 3 年連続の不漁となりました。すなわち、漁獲尾数は 226 万尾で、来遊予報どおり 23 年度を約 8% 程度上回ったものの、魚体の小型化など将来的に不安な要素も見られ、このため重量的には前年なみの約 7,200 トンにとどまりました。このような中、単価は比較的高い水準で推移したものの、対前年 94%にとどまり、結果的に対前年の 94%の 33 億円の水揚げに終わり、3 年連続で 30 億円台という非常に厳しい結果となりました。

一方、河川遡上もおもわしくなく、特に釧路地区は 11 月に度重なる大雨に見舞われ親魚捕獲が中断したまま終結するという事態もあって、結果的に採卵計画の約 75%にとどまるなど大変残念な結果となりました。また、十勝地区も、十勝川が捕獲計画を下回るなどの苦戦が続き、最終的にはかろうじて採卵計画を達成したものの、管内全体で 86%という、これまた非常に厳しい結果でありました。

このような 3 年連続の不漁という状況から、管内増協の運営は大変厳しいものがあり、会員の皆様の血の滲むような決断で会費 3%アップがなされたことから、かろうじて赤字は免れておりますが、さらに不漁が続くならば極めて厳しい事態に陥ることになり、是非とも漁の回復を願わずにはいられない、そういう局面にあるものと思われまます。このような認識から、昨年度同様、経費節減はもとより慎重な財務運営に努め、会員の皆様の付託に応じて事業の実施を行っていかねばならないものと考えている次第であります。

次に、近年太平洋側が一带に来遊不振が見られることから、国も釧路川を含め資源回復に向けた調査事業を立ち上げており、このため昨年度から実施している釧路川資源対策調査事業との整合性を図りつつ、専門機関による指導を仰ぎ、得られた知見に基づき釧路川資源回復のヒントを得ることやふ化放流現場への反映して行くことが重要であります。釧路川に限らず、近年十勝川も何とか計画はクリアーしているものの、遡上水準が低下傾向にあるなど不安な状況もあることから、釧路川の調査で得られる知見によって管内全体でのふ化放流技術の底上げして行くことが非常に大切な課題であると認識するところでありまます。また、薬事法が改正されて以来、魚病対策に苦戦する状況が続いております。このため、厳しい財務運営にありますが、専門機関の指導のもと、試験的にパイセスの導入など魚病対策にも努力して参りたいと考えております。

さらに、施設整備であります。水揚げの回復の見当がつかない現下の状況では、施設整備は昨年同様必要最小限にとどめて行かざるを得ません。御承知のとおり、当管内増協の施設は国からの移管施設が多く、老朽化も進んでいることから、維持補修が当面の施設整備の基本とならざるを得ないものと考えております。是非この点につきまして、会員の皆様の御理解を頂きたいと考える次第であります。

なお、本年からこれまでの公益法人から非営利型の一般社団法人に移行しております。このため、会計処理の仕方や総会での議事の扱いなど多くの事柄が変わることとなります。

会員の皆様には、なるべく分かり易く説明等行って参りますが、いずれも法に定められていることでございます。従って、今後の運営は法に反する事のないように取り進めなければなりませんので、宜しく御理解のほどお願いする次第であります。

以上のことから本年度の基本方針として、

1. 現下の厳しい経営環境のもと、引き続き経費削減に努めながら事業運営を進める。
2. 釧路川さけ資源対策調査事業の実施や魚病対策の推進などふ化放流技術のさらなる向上に努める。
3. 施設整備は厳しい財務運営が続いていることから、維持補修を基本に進める。
4. スムーズな一般社団法人移行に努めるとともに、適正な法人運営を行って行く。

いうまでもなく本会の役割はあくまでも良質のさけ稚魚を生産し放流することでありませす。昨年度の苦い経験をバネに、さらにふ化放流の目標達成に向け努力する所存でありますので、会員各位の御理解、御協力をお願い申し上げますとともに、関係機関の御指導・御協力につきまして宜しくお願いする次第であります。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

当協会の基幹事業であり、会員皆様の貴重な会費によって運営しております。さらに、この事業の円滑な運営には基準事業費の受入は不可欠で、昨年度同額の247,600千円が本会に給付されます。この制度のあり方を十分理解し、効率的、合理的な運営に努めて参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

この事業は、全道的に各管内増協が北海道から業務委託を受けたなかで、特別採捕許可を受けて実施しております。本年も昨年と同様に、捕獲は3事業河川及び5補完河川、2非捕獲河川の計10河川で実施致します。

事業河川である釧路川については6月下旬にはウライを入れ、親魚捕獲体制に万全を期して参ります。

また撤去に関しても、捕獲事業終盤に大雨が予測できた場合について撤去時期を早めるなどして対応していきます。

なお、釧路川について採卵数が計画を充足できない事が予想されますので、昨年同様に補完河川、非捕獲河川、又は十勝川で種卵確保の対応を致します。

また、広尾川についても同様に補完河川、十勝川からの種卵確保により対応致します。

系群保全河川である十勝川で不測の事態が予測される場合は、十勝・釧路管内で漁業者が協議し、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会等を通じて網上げ等の措置を講じて頂き、河川遡上を促し親魚確保に全力を注ぎ種卵を確保して参ります。

不要親魚等の売却についても、3事業河川と5補完河川と2非捕獲河川で行い、各漁協に捕獲業務を委託している補完河川については、経費に充当するよう全額を戻します。事業河川は総売却代金から諸費用を控除後、負担率の定めにより算出した金額を道増協に納付致します。

これらの親魚等については例年通り帯広地方卸市場、釧路市漁協市場、広尾漁協市場、また補完河川、非捕獲河川については最寄りの市場に上場致します。

親魚売却計画（事業河川）

（千円）

区 分	売却額	消費税	販売諸費	差引残額	道増協負担金	摘要
釧路地区	7,200	360	478	6,362	640	道増協10%負担
十勝地区	6,800	340	452	6,008	600	
広尾地区	1,000	50	70	880	90	
合 計	15,000	750	1,000	13,250	1,330	

(2) ふ化放流事業（別表1及び2の資料参照）

北海道が策定したふ化放流計画に基づいて、健描な稚魚を成育し適期に放流することを目標に、万全の体制で取り進め致します。

ふ化放流事業については、二次飼育を含め21ヶ所の飼育施設と、資源の均等化と陸上施設の不足を補完する目的で、漁港内及び海浜域9ヶ所の海中飼育施設において、関係機関のご指導のもと

14名の技術職員と臨時雇員、並びに各漁協・定置部会のご支援を得て適期放流と健描の育成に努めます

二次飼育の餌料については本会の対応としておりますが、事業費に対しても助成事業として取り進め致します。

【平成25年度 さけ捕獲採卵ふ化放流計画】

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	収容卵数 (千粒)	稚魚生産数 (千尾)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ以東	東部	前期	43,400	39,850	44,330	37,440	37,440	5,300	
		中期	47,600	43,820	47,360	40,240	40,240	8,200	
		後期	20,000	18,390	18,390	15,720	15,720	0	
		計	111,000	102,060	110,080	93,400	93,400	13,500	
	西部	前期	60,000	55,060	50,580	42,990	42,990	1,000	
		中期	71,400	65,510	61,970	52,840	52,840	4,000	
		後期	20,500	18,790	18,790	16,070	16,070	0	
		計	151,900	139,360	131,340	111,900	111,900	5,000	
	合計			262,900	241,420	241,420	205,300	205,300	18,500

(3) さけ・ます資源高品質化推進事業について

さけ・ます高品質のための適地放流手法の開発し、漁業者の受益に見合った、道県を超えた広域的な放流費用負担の調整を目標とした事業であり、以下の通り実施致します。

補助対象尾数(千尾)	単価(円/尾)	適地放流調査稚魚 売却収入(千円)	施標業務受託収入 (千円)
3,600	3.2	11,520	1,720

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

(1) ふ化施設整備計画

各ふ化場の施設・設備等の主な整備については以下の通り実施致します。(100万円以上)

実施ふ化場名	整備内容	事業費	摘要
オソツベツふ化場	池掃除機	3,400	
標茶ふ化場	飼育池屋根補修	1,000	
芦別ふ化場	消毒用薬浴タンク	1,000	
更別ふ化場	池掃除機	3,400	
	井戸ポンプ交換	7,445	
	水利権取得調査	3,045	
合計		19,290	

(2) 道増協改良積立金による施設整備

道増協改良積立金を活用し、施設整備を行います。

実施ふ化場名	整備内容	事業費	摘要
芦別ふ化場	飼育池改修工事	25,000	事業負担内訳参照

事業負担内訳

道増協改良積立金	長期資金借入	自己資金	合計	備考
50%	40%	10%	100%	
12,500	10,000	2,500	25,000	

(3) 北海道施設払い下げによる施設購入

施設名	購入金額	道増協負担	自己負担	備考
幕別ふ化場	11,400	5,700	5,700	3月購入

(4) 捕獲施設整備計画

捕獲場の施設、設備等の補修の主な整備については以下の通り実施致します。(100万円以上)
(千円)

実施捕獲場名	整備内容	事業費	摘要
釧路捕獲場	ウインチ	1,400	
	ウライ資材	2,000	
	ウライ設置・解体	4,000	
幕別捕獲場(千代田)	ウライ設置・解体	6,200	
合計		13,600	

3. ふ化放流事業助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して応分の助成を致します。

釧路地区

(千円)

幌戸	太田	チョロベツ	庶路	茶路	音別	小計
8,110	2,910	4,600	1,815	8,955	2,640	29,030

十勝地区

(千円)

更正	小紋別第1	小紋別第2	大樹	小計	合計
5,380	1,070	1,800	1,020	9,270	38,300

4. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 試験調査事業

(独) 水産総合研究センター北海道区水産研究所さけます資源部(以下「北水研」)が行う、エリモ以東海区の幼稚魚河川分布調査、モニタリング調査、北海道が秋さけ来遊資源予測の向上と適切な資源利用を目的として実施する耳石調査等、回帰資源の高位安定と効率事業推進のための各種試験及び調査の実施に積極的に協力致します。

(2) 教育研修活動

北水研、(地独) 北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場(旧道立ふ化場)、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査、及び汚濁防止のための監視活動、水質保全のための水質調査、開発建設部並びに北海道土木現業所が行う河川工事について、引続き関係機関との協力体制のもとに実施致します。

5. 釧路川資源調査事業

遡上が不振となっている釧路川の資源について、その要因や対策を総合的に調査分析するために、北海道、北水研、内水試、道増協、釧定協と連携し、24事業年度からの調査です。この調査は8年計画としてその概要は以下の通りです。

なお、この調査は北海道の地域づくり推進事業の補助金を受けています。

(千円)

年 度	標 識		河川調査	海洋調査	回帰調査	費 用 内 訳		北海道補助金	備考
	A L C	鱈カット				費 用	内管内増協負担		
23年	○					467	467		実績
24年	○	○	○	○		6,000	4,200		
25年	○	○	○	○		6,000	5,000	900	24年度補助金
26年	○	○	○	○	○	7,000	5,000	800	25年度補助金
27年					○	1,000	1,000		
28年					○	1,000	1,000		
29年					○	1,000	1,000		
30年					○	1,000	1,000		
					計	23,467	18,667		

6. 受入並びに負担事業

(1) さけ・ます増殖事業支援事業（基準事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業制度について事業費負担をし、さけ・ます稚魚飼育放流事業及び親魚捕獲採卵事業に対して助成金（基準事業費）を受け入れます。

なお、基準事業費については全道の各管内増協が漁獲金額に応じて負担する12億円を原資として、各管内増協が実施している稚魚放流数並びに採卵数を基礎として算出されます。

増殖支援事業費（千円）助成金	漁獲高割負担金（千円）	差引額（千円）
247,600	100,000	147,600

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本協会が実施する増殖施設整備事業に充当する目的の、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの寄付金について、適正に管理運用致します。

7. 施設整備5ヶ年計画

財源が厳しい事から、新設、大規模修繕工事は行わず、中小規模の維持補修を以下の通り実施致します。

施設整備5ヶ年計画

(千円)

年度	内 訳				費用
	新 設	大規模修繕	中規模修繕	ローカルその他	
25		芦別ふ化場 12,500 (25,000)	更別第2飼育場 7,445		19,945 (25,000)
26		幕別捕獲場 30,000	釧路捕獲場 10,000 芦別ふ化場 12,000		52,000
27		更別第二飼育場 25,000	標茶ふ化場 30,600 幕別ふ化場 5,000 芦別ふ化場 19,600	小紋別ふ化場 音別ふ化場 茶路ふ化場 90,500	170,700
28	士幌・札内ふ化場 200,000 (400,000)	札内ふ化場 25,900 (51,800)	更別第2飼育場 10,000 幕別ふ化場 6,000	太田飼育場 400	242,300 (451,800)
29		美留和ふ化場 28,000	釧路捕獲場 10,000		38,000
費用合計	200,000 (400,000)	121,400 (76,800)	110,645	90,900	522,945 (476,800)

※()の数値は補助金を加算した金額

収 支 予 算 書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単価:千円)

科 目	平成25年予算額	平成24年予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	10	70	△ 60
特定資産受取利息	10	70	△ 60
受取入金	0	0	0
受取入金	0	0	0
受取会費	388,400	391,100	△ 2,700
正会員受取会費	400	400	0
賛助会員受取会費	0	0	0
漁獲高割受取会費	353,000	355,700	△ 2,700
特別受取会費	35,000	35,000	0
事業収益	28,240	43,809	△ 15,569
親魚捕獲採卵事業収益	15,000	30,000	△ 15,000
高品質化推進事業収益	11,520	11,840	△ 320
業務受託収益	1,720	1,969	△ 249
受取補助金等	288,345	269,891	18,454
受取地方公共団体補助金	900	0	900
受取地方公共団体補助金振替額	20,795	22,291	△ 1,496
受取道増協賛助金	266,650	247,600	19,050
受取負担金	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	960	1,110	△ 150
受取利息	10	50	△ 40
雑収益	950	1,060	△ 110
経常収益 計	705,955	705,980	△ 25

科 目	平成25年予算額	平成24年予算額	増 減
(2) 經常費用			
① 事業費	629,938	656,266	△ 26,328
役員報酬	3,600	3,600	0
給料手当	63,900	62,488	1,412
臨時雇賃金	97,000	99,996	△ 2,996
役員退任慰労金	450	450	0
退職給付費用	6,671	5,494	1,177
法定福利費	21,600	20,266	1,334
福利厚生費	4,810	4,082	728
会議費	200	198	2
旅費交通費	3,800	4,017	△ 217
通信運搬費	2,900	3,025	△ 125
減価償却費	136,977	171,963	△ 34,986
備品費	1,870	2,000	△ 130
消耗費	26,000	19,490	6,510
餌料費	40,000	44,672	△ 4,672
施設費	450	4,550	△ 4,100
施設調査費	5,000	7,300	△ 2,300
補修修繕費	26,800	24,051	2,749
印刷製本費	0	0	0
燃料費	17,500	13,911	3,589
光熱水料費	6,200	5,558	642
動力費	59,000	52,334	6,666
賃借料	14,800	11,805	2,995
車輛費	32,500	32,294	206
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
親魚販売諸費	1,750	3,500	△ 1,750
公租公課	7,500	6,800	700
支払利息	0	0	0
支払負担金	44,060	47,800	△ 3,740
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
委託費	0	0	0
雑費	4,600	4,622	△ 22

科 目	平成25年予算額	平成24年予算額	増 減
②管理費	146,604	146,464	140
役員報酬	2,400	2,400	0
給料手当	11,000	16,375	△ 5,375
役員退任慰労金	300	300	0
退職給付費用	1,066	522	544
法定福利費	3,200	3,300	△ 100
福利厚生費	590	500	90
会議費	750	850	△ 100
旅費交通費	4,400	4,400	0
通信運搬費	900	900	0
減価償却費	1,393	1,737	△ 344
備品費	500	50	450
消耗品費	500	500	0
図書購入費	130	130	0
修繕費	600	200	400
印刷製本費	180	180	0
燃料費	840	840	0
車輛費	960	960	0
光熱水料費	550	470	80
賃借料	4,350	4,150	200
広告宣伝費	130	130	0
保険料	1,900	1,800	100
諸謝金	0	0	0
租税公課	3,000	2,700	300
支払負担金	103,410	99,570	3,840
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
支払利息	1,605	2,000	△ 395
交際費	450	500	△ 50
雑費	1,500	1,000	500
經常費用 計	776,542	802,730	△ 26,188
当期經常増減額	△ 70,587	△ 96,750	26,163
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益 計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用 計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 70,587	△ 96,750	26,163
一般正味財産期首残高	1,168,870	1,297,360	△ 128,490
一般正味財産期末残高	1,098,283	1,200,610	△ 102,327
II 指定正味財産増減の部			
①受取補助金等	0	0	0
②一般正味財産への振替額	△ 20,795	△ 22,291	1,496
当期指定正味財産増減額	△ 20,795	△ 22,291	1,496
指定正味財産期首残高	314,762	337,053	△ 22,291
指定正味財産期末残高	293,967	314,762	△ 20,795
III 正味財産期末残高	1,392,250	1,515,372	△ 123,122

平成25年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の9.9%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.0%を施設整備のための積立とする。

(3) 春さけ定置漁業会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(4) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

別表-1

平成25年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(社)十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考				
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)							
えりも 以東	東部	根室							落石	0	0	芦別 500 芦別 500 芦別 500	◎昆布盛 ◎三里浜 ◎沖根婦漁港	500 500 500						
			(幌戸)										芦別 1,900 オソツベツ 1,800 オソツベツ 1,300 標茶 1,670	幌戸	3,700					
			(藻散布)										オソツベツ 800 美留和 0 標茶 2,000 オソツベツ 1,000	◎霧多布港湾沖 新川 藻散布	800 3,000					
		釧路	(別寒辺牛)											美留和 490 オソツベツ 500 美留和 1,820 標茶 980	◎藻散布港湾 別寒辺牛	990 2,800	1,000千尾減			
														美留和 1,000 オソツベツ 2,000 美留和 2,950	末広川 ◎厚岸漁港	1,000 4,950	1,000千尾増(新規)			
														標茶 0 標茶 990	◎老若舞漁港	990				
				(チョロベツ)										オソツベツ 2,000 標茶 990	チョロベツ ◎昆布森漁港	2,000 990				
			釧路											美留和 33,810 標茶 14,480 オソツベツ 20,000 ※鶴居 10,800 芦別 21,400	美留和 120	◎釧路港東港区 釧路	120 54,800			
					111,000	102,060				10,800					美留和 4,600 茶路 990	庶路 ◎白糠漁港	4,600 990			
															茶路 9,590	茶路	7,200			
			地区計		111,000	102,060	0	8,020	10,800			110,080	93,400			31,400	93,400			
			西部	十勝	釧路										音別 10,600		音別 9,000	9,000		
															幕別 1,500 札内 3,000	厚内 ◎厚内漁港	1,500 3,000			
		幕別 千代田				141,300	129,670	8,020	17,600	更別第1 ※十勝 幕別 札内	12,900 17,600 28,000 28,500	10,990 15,300 23,810 24,200			◎十勝	60,500	200千粒減			
		(歴舟)													大樹 0 更生 5,900	0 4,930	更別第1 幕別 1,700 1,800	当縁 歴舟	1,700 8,100	
	(小紋別)													小紋別 2,900	2,470	更生 幕別 更別第1	0 2,000 2,430	小紋別	6,900	
	(楽古)													楽古 3,540	3,000	広尾 3,000	豊似	3,000		
	広尾	10,600			9,690									楽古 21,400	3,000	広尾 400	楽古	3,400	(4,600千尾保留)	
															広尾 21,400	18,200	広尾	11,800		
															広尾 1,000	1,000	◎十勝港	1,000		
															広尾 1,000	1,000	音調津	1,000		
															広尾 1,000	1,000	◎音調津漁港	1,000		
	地区計				151,900	139,360	8,020	0	17,600				131,340	111,900			20,200	111,900		
	海区計		262,900	241,420	8,020	8,020	28,400				241,420	205,300			51,600	205,300				

※は(独)水産総合研究センターさけますセンター

稚魚生産率85%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,400粒

係数1.089 * 収容卵数 = 捕獲尾数

(楽古についての4,600千尾減については、施設整備後集約完了まで保留)

別表-2

平成25年度カラフトマス人工ふ化放流計画

(社) 十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
えりも 以東	東部	根室							落石	1,900	1,500			◎落石地先	0	
		釧路	釧路 (幌戸)	4,300	1,900				芦別	0	0			釧路 幌戸	0 1,500	
	地区計			4,300	1,900					1,900	1,500				1,500	
	海区計															

平成25年度ベニザケ人工ふ化放流計画 (稚魚生産)

(社) 十勝釧路管内さけます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		センターへの 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	幼魚生産場	幼魚生産 移行数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも 以東	東部	釧路	釧路	※1 60	60			0	※鶴居	60	0	※静内	50	釧路	50	※静内	50	
		地区計			60	60			0		60	0		50	1水系	50		50
	海区計				60	60			0		60	0		50		50		50

※1 捕獲数策定指標 ♀比55% ♀使用率75% 1尾当平均採卵数2,100千粒

※2 ふ化場、幼魚生産場の※はセンター